

令和7年度 看護学部 一般選抜(前期日程)試験問題

総 合 問 題 Ⅱ

(時間：50 分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は8ページ、解答用紙は1枚です。
- 3 問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は手を上げて監督員に知らせてください。
- 4 問題冊子の余白は適宜利用してかまいません。
- 5 解答は、全て解答用紙の所定の欄に、横書きで記入してください。また英数字・記号・句読点も1字として1マスに記入してください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので監督員の指示に従ってください。問題冊子は持ち帰ってください。

以下の文章を読んで設問に答えなさい。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から
掲載しません。

著作権保護の観点から 掲載しません。

(ハーマン・ボンツァー著、小巻靖子訳「運動しても痩せないのはなぜか——代謝の最新科学が示す
「それでも運動すべき理由」」による 一部改変)

(注)

- 1 BMR：基礎代謝率。早朝、空腹時(過去6時間何も食べていない)に快適な気温の中で横たわり、目は覚めているが安静状態にあるときのエネルギー消費量のこと。体が何の動作もせず、食べ物の消化も体温を温かく保つための仕事もしていないときに消費しているエネルギーの量のこと。

問 1 ニューファンドランド島のクイディ・ビティ港からイギリスのシリー諸島までボートによる北大西洋横断の成功率は、ブライス・カールソンが成功した時点で、何パーセントとなったのか。小数点以下は四捨五入して答えなさい。

問 2 「持久力の限界を決めるのは何か」という問いに対して、一語で答えなさい。

問 3 下線部(1)について、運動の強度による燃料の種類の変化について、50 字程度で述べなさい。

問 4 (A)～(D)に入る数字または語句を答えなさい。

問 5 下線部(2)について以下の問いに答えなさい。

1) 下線部(2)で投げかけている問いについて、ララ・デュガスが提示したどのような測定結果が注目されるか、60 字以内で述べなさい。

2) ララ・デュガスが提示した測定結果に対する筆者の考えを 2 点述べなさい。

問 6 以下の文を読み、本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を記しなさい。

1) 1 日に消費するカロリーを見ると、多い方から、アイアンマンレースに参加するトライアスロンの選手、トレーニング中のマイケル・フェルプス選手、ツール・ド・フランスのレース期間中の選手、2015 年のレース・アクロス・USA に参加したレース終了間近の選手たち、2018 年に北大西洋横断を行った際のブライス・カールソン、の順になると推測される。

2) エネルギー消費と持久力との関係について、体内の代謝エンジンと車のエンジンとの共通性は、速く走るとカロリーの燃焼も速くなること、また、走るスピードを変えても走れる距離に違いはほとんど生じないことである。

3) 運動の強度、すなわち走る速度は、運動している人の細胞内のミトコンドリアによって行われる嫌氣的 ATP 産生の速度の上限とその運動による ATP 消費とのバランスによって決まる。

4) レース・アクロス・USA とは、カリフォルニアのハンティントンビーチを出発し、週に 6 回のマラソンを 140 日にわたって走り続け、ゴールのホワイトハウスのあるワシントン DC を目指す、合計 3000 マイル(約 4800 キロメートル)のレースであり、企画したのはダレンとサンディのヴァン・ソイ夫妻である。

問 題 訂 正 等

令和 7 年度福島県立医科大学
看護学部 一般選抜（前期）試験

総合問題Ⅱ

・ 8 頁の問 1 の設問

（誤）ニューファンドランド島のクイディ・ビティ港から…

（正）ニューファンドランド島のクイディ・ビディ港から…

以上